

Occupational Health Promotion Center  
おおいた産保メールマガジン 臨時増刊号  
発行:大分産業保健推進センター 所長 三角 順一  
Oita

◆メルマガ読者の皆様へ◆

東日本大震災の支援のため共に考え共に行動を起こしましょう

独立行政法人労働者健康福祉機構 大分産業保健推進センター所長 三角 順一

3月11日午後2時46分に東北地方で発生したマグニチュード9.0の地震及び津波それに続く火災及び原子力発電所の爆発による放射能の放出等により東日本地域で、かつて日本民族が経験したことのない巨大激甚災害に見舞われております。まだ被害の全体像が、判明するのは、これからだと思われませんが、15日午後10時現在のNHK報道によると死亡者数行方不明者合わせて1万3千人超と報道されております。未曾有の災害により避難を余儀なくされておられる人の数も40万人を超えていると言われております。

連日のテレビ、新聞等により地震・津波の発生の様子、それに続く、原子力発電所の爆発の様子、災害状況、そして水、食料、毛布、衣料品、医薬品、灯油、ガソリン等の物不足など、遠く離れた九州の地からみても地獄のような惨状を見るにつけ、現地で実際に困難に直面しておられる被災者の苦しみは、如何ばかりかと拝察いたします。本当に想像を超える信じ難い事態です。世界各国から69を超える国や諸外国の団体などからも援助の手が差し伸べられております。現地では、地震により自宅や家族を失くしながらも、連日、自宅に帰ることなく医療活動に従事しておられる医療関係者の方々、発電所の事故現場で放射能に暴露され、自らの命を危険に曝しながら、放射能汚染を最小限に食い止める努力を続けておられる作業員の方々、また、やむを得ず避難を強いられておられる40万人を超える方々、がおられます。政府、各県、市町村を始めとする行政の方々等、名もない多くの人たちの様々な支援が始まっております。

しかし、今、私達は、被災者の方々のために「どんな援助ができるのか」具体的な支援の方法を様々な方面から検討しているところです。平素ご愛読して頂いておりますメルマガ読者の皆様、今、私達が取るべき行動について、是非、アイデア(電話相談など)があれば、どんなことでも結構です。

大分産業保健推進センターのメールアドレス([info@oita-sanpo.jp](mailto:info@oita-sanpo.jp))

電話(097-573-8070)及びFAX(097-573-8074)等で是非ご教示下さい。

皆様と共に被災者のために出来ることを、一緒にやろうではありませんか

今日の状況は、我が国がこれまで歴史上経験したことのない国難とも言える状況にあります。世界中が私たち日本人の行動を注目しています。

私達にも出来ることが必ず何かあるはずですよ。ご一緒に何かやろうではありませんか。

また、今回の出来事は、決して他人事ではなく、私達自身が、今回の貴重な体験に学び、身を引き締めて明日の事態に備えることを示唆しているようにも思います。

今、私達一人一人が、何をなすべきか考え、直ちに行動を起こさなければなりません。

皆さまのご意見、ご教示賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

Oita Occupational Health Promotion Center  
独立行政法人 労働者健康福祉機構 大分産業保健推進センター  
〒870-0046 大分市荷揚町3番1号 第百・みらい信金ビル7階  
TEL:097-573-8070 FAX:097-573-8074  
<http://www.oita-sanpo.jp/> / E-mail: [info@oita-sanpo.jp](mailto:info@oita-sanpo.jp)